

日時： 令和5年（2023年）5月12日（金） 15:00～15:30

場所： ライトキューブ宇都宮 中ホール西（第3会場）

議題

- 1) 部会新体制について
- 2) 2022年度決算報告・2023年度予算案について
- 3) 第34回全国協議会（甲府）における部会主催行事（案）
- 4) 令和5年度第一回研修会の開催について
- 5) ANOH学会について
- 6) 奨励賞ならびに特別功労賞の表彰

議事（案）

- 1) 部会新体制について（資料1）
- 2) 2022年度決算報告・2023年度予算案（資料2）
- 3) 第34回全国協議会（甲府）における部会主催行事（案）
 - ① 産業衛生技術部会シンポジウム「経皮吸収に関する最近の動向（仮題）」
座長：中原浩彦
 - 「自律的管理における皮膚吸収性有害物質の基本的な考え方（仮）」豊岡達士（労働安全衛生総合研究所）
 - 「皮膚吸収評価の実験的手法と今後（仮）」柳場由絵（労働安全衛生総合研究所）
 - 「皮膚吸収評価の計算予測（仮）」後藤嘉孝（みずほリサーチ&テクノロジーズ）
 - 「化学防護手袋の評価と選び方（仮）」（演者調整中）
 - ② 産業衛生技術部会専門研修会
テーマ，座長，演者ともに調整中。
 - ③ 拡大幹事会（ハイブリッド開催を予定）
- 4) 令和5年度第一回研修会の開催案について（資料4）
日時：7/22（土）15:00～17:50
場所：機械振興会館&オンライン（ZOOM）のハイブリッド
司会進行 齊藤宏之（労働安全衛生総合研究所）
座長 神津 進（HOYA株式会社）
副座長 飯田裕貴子（株式会社環境管理センター）
講演・演者（案）
 - 「衛生管理者巡視の新しい形態」 川上貴教（北海道大学）
 - 「衛生管理者巡視の実務上のノウハウ」 椎野恭司（椎野労働衛生コンサルタント事務所）
 - 「労働衛生管理全体から見た衛生管理者の巡視の重要性と産業医巡視との連携」 梶木繁之（株式会社 産業保健コンサルティングアルク）
- 5) 奨励賞ならびに特別功労賞について
 - 今年度の奨励賞については，幹事などから頂いた推薦（2名）について表彰委員会にて厳正な審査の結果，下記の通り決定した。
 - 中村 剛（東北大学医学部 研究安全管理室）
 - 武藤 剛（北里大学 医学部衛生学講座）
 - 部会立ち上げならびに運営に多大なるご尽力を頂いた，中明賢二先生（麻布大学名誉教授）に特別功労賞をお贈りすることとした。
- 6) その他
 - 個人ばく露測定ガイドライン作成特設委員会の設置について

以上。

2023/5/12

【部会幹部】

役職	氏名(所属)
部会長	橋本晴男(橋本安全衛生コンサルタントオフィス)
副部会長	山野優子(昭和大学) 中原浩彦(NAOSHコンサルティング)
監事	加藤隆康((独)労働者健康安全機構 愛知産業衛生総合支援センター)

【幹事】 (*印:理事長推薦, 無印:地方会推薦)

地方会	氏名	所属
北海道	相澤和幸	公益財団法人 北海道労働保健管理協会 産業保健部
	川上貴教	北海道大学 安全衛生本部
東北	河合直樹	河合環境コンサルタント事務所
	森 洋	秋田環境測定センター
関東	橋本晴男(*)	橋本安全衛生コンサルタントオフィス
	山野優子(*)	昭和大学医学部
	中原浩彦(*)	NAOSHコンサルティング
	伊藤昭好	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
	齊藤宏之	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
北陸 甲信越	田畑正司	一般財団法人 石川県予防医学協会
	田村三樹夫	田村労働安全衛生コンサルタント事務所
東海	榊原洋子	愛知教育大学 教育学部 保健体育講座
	城 憲秀	中部大学 生命健康科学部 保健看護学科
	中元健吾(*)	中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所
	伊藤由起(*)	名古屋市立大学 医薬学総合研究院
近畿	長見まき子	関西福祉科学大学 健康福祉学部 健康科学科
	竹内靖人	中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター
	東 賢一(*)	関西福祉科学大学 健康福祉学部 福祉栄養学科
中国	田口豊郁	田口労働安全衛生コンサルタント事務所
	森本寛訓	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科
四国	浜井盟子	愛媛大学医学系研究科
	光吉宏司	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンター四国支所
九州	宮内博幸	産業医科大学 産業保健学部
	保利 一	産業医科大学 産業保健学部
	渡邊裕晃(*)	産業医科大学 産業保健学部
	樋上光雄(*)	産業医科大学 産業保健学部

【事務局】

役割	氏名
部会長	橋本晴男
副部会長	山野優子, 中原浩彦
事務局長	齊藤宏之
総務担当	齊藤宏之(主), 中村 修(副), 中村憲司(副), 山内武紀(副)
会計担当	飯田裕貴子(主), 中村 修(副)
広報担当	齊藤宏之(主), 貴志孝洋(副)
教育研修担当	中村 修(主), 川上貴教(副)
国際協力担当	中原浩彦(主), 飯田裕貴子(副)

【企画運営委員】

氏名	所属
青木隆昌	九州工業大学
飯田裕貴子	環境管理センター
牛澤浩一	理化学研究所
大久保茂子	昭和大学
奥田篤史	株式会社富士清空工業所
加藤隆康	(独)労働者健康安全機構 愛知産業衛生総合支援センター
川上貴教	北海道大学
貴志孝洋	筑波大学
久保田裕仁	興研
齊藤宏之	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
津田洋子	帝京大学
藤間俊彦	AGC株式会社
中原浩彦	NAOSHコンサルティング
中村修	筑波大学
中元健吾	中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所
橋本晴男	橋本安全衛生コンサルタントオフィス
東久保一朗	中央労働災害防止協会
山内武紀	昭和大学
山野優子	昭和大学

収支計算書

2022年 3月 1日から2023年 2月28日まで

産業衛生技術部会

科目	予算額	決算額	差異	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	0	0	0	
協賛金等収入				
参加登録料収入				
その他事業収入				
受取補助金等	600,000	595,452	4,548	
受取本国補助金	600,000	595,452	4,548	
受取地方公共団体補助金				
受取民間団体補助金				
受取国民生活補助金	0	0	0	
受取活字印刷費	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	0	99,362	-99,362	
受雑取利息		24	-24	
経常収益計	600,000	694,814	-94,814	口座相違等による払い戻し
(2) 経常費用				
事業費用	1,215,000	849,438	365,562	
臨時雇賃金				
会場交通搬入費	50,000	32,114	17,886	
旅通印刷什親耗	50,000	19,291	-19,291	ZOOM、郵送
消耗什親耗		3,501	-3,501	技術部会パンフレット
機器備品		358,535	-358,535	カメラ、三脚等WEB機材
刊行費		0	0	
渉外費				
謝金	80,000	149,710	-69,710	講師謝金
助成金				
助成金				
助成金	200,000	134,860	65,140	九州地方会、東海地方会
委託費	830,000	146,667	-146,667	ANOH年会費
保守費				
管理費	5,000	4,760	240	
当座費	386,000	124,262	261,738	
理事幹事会費	100,000	101,286	-1,286	
旅通印刷什親耗	100,000	712	99,288	
役員刷製器備品	30,000		30,000	
消耗什親耗	2,000		2,000	
報渉費	150,000		150,000	
報渉費	2,000		2,000	
委託費				
託費				
保守費	2,000	22,264	-20,264	村田克先生への葬儀弔電、等
経常費用計	1,601,000	973,700	627,300	
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,001,000	-278,886	-722,114	
評価損益等計			0	
当期経常増減額	-1,001,000	-278,886	-722,114	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計			0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計			0	
当期経常外増減額			0	
当期一般正味財産増減額	-1,001,000	-278,886	-722,114	
一般正味財産期首残高	2,403,878	2,817,859	-413,981	
一般正味財産期末残高	1,402,878	2,538,973	-1,136,095	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,402,878	2,538,973	-1,136,095	

監査結果報告

日本産業衛生学会産業衛生技術部会の 2022 年度の会計関係の帳簿等をもとに監査いたしましたところ、会計は適切に処理されていることを確認いたしました。ここにご報告いたします。

2023 年 3 月 10 日

産業衛生技術部会 監事

加藤 隆 彦 

収支予算書

2023年 3月 1日から2024年 2月29日まで

産業衛生技術部会

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	0	0	0	
協賛金等収入			0	
参加登録料収入			0	
資格認定料収入			0	
その他の事業収益			0	
受取補助金等	600,000	600,000	0	
受取本部補助金	600,000	600,000	0	
受取国庫補助金			0	
受取地方公共団体補助金			0	
受取民間団体補助金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取活動費	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取利息			0	
受取利息			0	
経常収益計	600,000	600,000	0	
(2) 経常費用				
事業費	835,000	1,215,000	-380,000	
臨時雇賃金			0	
臨時雇賃金	50,000	50,000	0	
旅費	50,000	50,000	0	
通運費			0	
減価償却費			0	
印刷製本費			0	
懇親会費			0	
消耗品費			0	
機関誌発行費			0	
広報渉外費			0	
研究助成金			0	
諸学会助成金	80,000	80,000	0	外部演者
協議会助成金			0	
大会研修会助成金			0	
地方会助成金	200,000	200,000	0	
委員研究会費			0	
委託会費	300,000	830,000	-530,000	DL翻訳(6万/年×5人)
国際交流流守費	150,000		150,000	ANOH年会費
雑費	5,000	5,000	0	
管理費	386,000	386,000	0	
給料手当			0	
理事幹事会費	100,000	100,000	0	
旅費	100,000	100,000	0	
通運費	30,000	30,000	0	ZOOM通信費当
役員改選費			0	
印刷製本費	2,000	2,000	0	
消耗什器備品	150,000	150,000	0	遠隔会議用機器
消耗什器備品	2,000	2,000	0	
会報報渉費			0	
広報報渉費			0	
委報報渉費			0	
雑費	2,000	2,000	0	
経常費用計	1,221,000	1,601,000	-380,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-621,000	-1,001,000	380,000	
評価損益等計			0	
当期経常増減額	-621,000	-1,001,000	380,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計			0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計			0	
当期経常外増減額			0	
当期一般正味財産増減額	-621,000	-1,001,000	380,000	
一般正味財産期首残高	2,300,000	2,403,878	-103,878	
一般正味財産期末残高	1,679,000	1,402,878	276,122	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,679,000	1,402,878	276,122	

日本産業衛生学会 産業衛生技術部会 令和5年度第一回研修会 「衛生管理者による巡視について」

日時 令和5年 7月 22日 (土) 15:00~17:50

会場 機械振興会館 6-66会議室 (東京都港区芝公園3-5-8) / ZOOMによるオンライン配信

会費 無料

対象 どなたでも (配布資料は会員のみ)

座長 HOYA株式会社 神津 進
株式会社環境管理センター 飯田裕貴子

15:00~15:05	開会あいさつ 産業衛生技術部会 部会長 橋本晴男
15:05~15:45	衛生管理者巡視の新しい形態 北海道大学 安全衛生本部 川上貴教
15:45~16:25	衛生管理者巡視の実務上のノウハウ 椎野労働衛生コンサルタント事務所 椎野恭司
16:25~16:35	休憩
16:35~17:15	労働衛生管理全体から見た 衛生管理者の巡視の重要性と産業医巡視との連携 (株) 産業保健コンサルティングアルク 梶木繁之
17:15~17:45	質疑応答
17:45~17:50	閉会あいさつ 産業衛生技術部会 副部会長 中原浩彦

会場アクセス (機械振興会館)



参加申し込み方法

下記申込みフォームよりお申し込みください。

締め切りは6月30日 (金) です。

<https://forms.gle/R5knX5QSyj4iuZzr5>





The 6th ANOAH CONFERENCE

Asian Network of Occupational Hygiene

Exploring the Asian Way: Collaboration, Innovation and Adaptation for the Future of IH in Asia

Professional Development Courses: 26 - 27 August 2023 (Sat-Sun)

Conference: 28 - 30 August 2023 (Mon-Wed)

**Acacia Hotel, Alabang, Muntinlupa
Manila, Philippines**

For inquiries, please email: ANOAH2023Phil@gmail.com



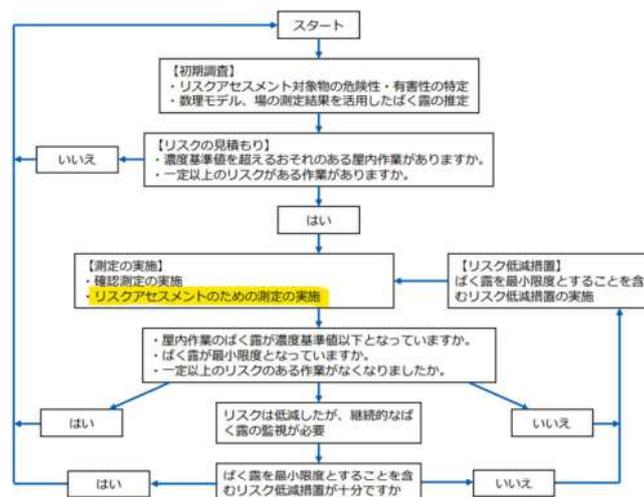
背景

- 今後、個人ばく露測定をベースにした包括的なリスクアセスメントが進むと予想される。
- 「個人ばく露測定のガイドライン（以後ガイドライン）」は包括的リスクアセスメントの指針として作成された。海外からも引用されている。
- 内容が学術向けであり、平易なガイドラインのダイジェスト版のニーズが出てきた。

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針
令和5年4月27日 技術上の指針公示第24号
2-2 リスクアセスメントにおける測定より

事業場における全ての労働者のばく露の程度を最小限度とすることを含めたリスク低減措置の実施のために、ばく露状況の評価は、事業場のばく露状況を包括的に評価できるものであることが望ましいこと。

このため、事業者は、労働者がばく露される濃度が最も高いと想定される均等ばく露作業（労働者がばく露する物質の量がほぼ均一であると見込まれる作業であって、屋内作業場におけるものに限る。以下同じ。）のみならず、幅広い作業を対象として、当該作業に従事する労働者の呼吸域における物質の濃度の測定を行い、その測定結果を統計的に分析し、統計上の上側信頼限界（95%）を活用した評価や物質の濃度が最も高い時間帯に行う測定の結果を活用した評価を行うことが望ましいこと。

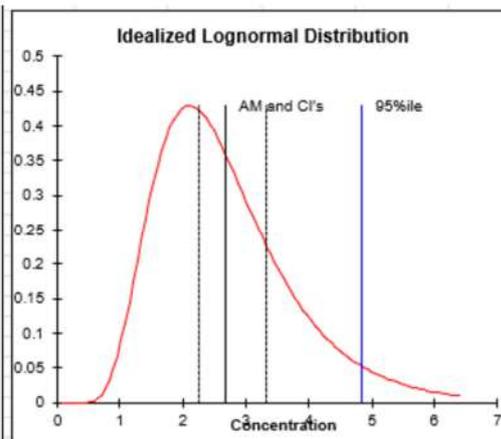


作成の方針

- パンフレットのように読みやすい形式とする。
 - 化学物質管理専門家、作業環境管理専門家を対象とし、一般公開する。
 - 簡易版だけを読んで終わりにならないように工夫する。
- ガイドラインにリンクを貼り、しっかり読み込んでもらい、根本的な理解が深まるための誘導資料とする。
- 実測前の調査が最も大事であることをあらためて啓発する
 - AIHA IHSTAT活用も組み入れる。測定データを、何も考えずに統計処理をしないようにする。

IHSTAT画面より

Industrial Hygiene Statistics	
Data Description	
1	DESCRIPTIVE STATISTICS
2	OEL
3	Number of samples (n)
4	Maximum (max)
5	Minimum (min)
6	Range
7	Percent above OEL (%>OEL)
8	Mean
9	Median
10	Standard deviation (s)
11	Mean of logtransformed data (LN)
12	Std. deviation of logtransformed data (L)
13	Geometric mean (GM)
14	Geometric standard deviation (GSD)
15	TEST FOR DISTRIBUTION FIT
16	W-test of logtransformed data (LN)
17	Lognormal (a = 0.05)?
18	W-test of data
19	Normal (a = 0.05)?
20	LOGNORMAL PARAMETRIC STATISTICS
21	Estimated Arithmetic Mean - MME
22	LCL _{95%} - Land's "Estat"
23	UCL _{95%} - Land's "Estat"
24	50th Percentile
25	UT _{95%}
26	Percent above OEL (%>OEL)
27	LCL _{95%} %>OEL
28	UCL _{95%} %>OEL
29	NORMAL PARAMETRIC STATISTICS
30	Mean
31	LCL _{95%} - 1 standard
32	UCL _{95%} - 1 standard
33	50th Percentile - Z
34	UT _{95%}
35	Percent above OEL (%>OEL)



進め方

技術部会内に、検討委員会を作って作成を進める。
委員会名：「個人ばく露測定に関する特別委員会」

メンバー案（五十音順）

- 伊藤昭好（労働安全衛生総合研究所）
- 貴志孝洋（筑波大学）
- 齊藤宏之（労働安全衛生総合研究所，副委員長）
- 中原浩彦（NAOSHコンサルティング，委員長）
- 中村 修（筑波大学，事務局）
- 橋本晴男（橋本安全衛生コンサルタントオフィス）
- 持田伸幸（ENEOS）
- 山野優子（昭和大学）